

## A101 和文表題講演論文の書き方 第2報：必要に応じて副題

### Instructions for Manuscript Preparation 2nd Report: Subtitle if you need

○冷凍 太郎\* (日本橋大工), 空調 花子\*\* (中央工大), 食品 二郎\*\*\* (大富大工)

○Taro REITO\*, Hanako KUCHO\*\* and Jiro SHOKUHIN\*\*\*

\*Department of Mechanical Engineering, Nihonbashi University, Chuo-ku, Tokyo, 103-0011, Japan

\*\*Department of Physics, Chuo Institute of Technology, Meguro-ku, Tokyo, 152-0033, Japan

\*\*\*Department of Chemical Engineering, Otomi University, Shibuya-ku, Tokyo, 151-0053, Japan

Abstract should be written with 10pt Times New Roman and single-space from here. The length of the abstract is limited within 150 words.

PDF(.pdf)ファイルに変換してから提出する。PDF 変換の設定は高解像度 High quality を推奨するが、ファイルサイズは 5 MB 以下とする。原稿内の和文フォントは明朝体を、英数字は半角文字とし Times New Roman を推奨する。提出期限：7月25日(月)必着。

Keywords: Keyword1, Keyword2, Keyword3, Keyword4, Keyword5

#### 1. 原稿作成要領

原稿は A4 用紙 2 ページ～6 ページとし、本文は 10pt 明朝体を用いて 1 段組みで作成する。1 ページあたり全角 48 文字×53 行とする。この設定は、MS Word の「ページ設定／文字数の設定」での、「標準の文字数を設定する」に相当する。

##### 1.1 原稿用紙

###### (1) 用紙サイズ

A4 用紙とする。

###### (2) 余白

上下左右に以下の寸法で余白を設定する。上部余白にはヘッダーを設け、「講演番号-ページ番号」を記入する。この例で、A101 となっているものは各自の講演番号に修正して下さい。1 ページ目の下部余白にはフッターを設け、「2016 年度日本冷凍空調学会年次大会講演論文集 (2016.9.6-9, 神戸)」の文字を 8pt 明朝体で記入する。

上余白：25 mm 下余白：25 mm

左余白：20 mm 右余白：20 mm

上部ヘッダー：用紙端から 15 mm

下部フッター：用紙端から 15 mm

#### 2. 原稿書式

Word のスタイル機能を使用すると容易に書式を設定できる。MS Word 2003 の場合「書式」→「スタイルと書式」を選択、Word 2007 以降の場合「スタイルリボン」右下の矢印ボタンをクリックし、各スタイルを選択できる。

##### 2.1 表題

和文表題は 12pt 明朝体強調文字、中央揃えとする。表題の前には講演番号を英数半角 12pt Bold Times New Roman で記入する。必要に応じて、副題を同じ書体で改行して記す。

英文表題は、書体 10pt Bold Times New Roman とし、前置詞、冠詞を除く単語の先頭文字のみを大文字とする。副題は同じフォントを使用し、副題の先頭文字のみを大文字にして記す。

申し込み時からの題目の変更は原則認めない。変更せざるを得ない場合、「5. 問合せ先」に連絡する。

## 2.2 著者

副題から1行あけて、著者を記入する。書体は、和文では10pt 明朝体、英文では10pt Times New Romanとする。和文、英文ともに、講演者が35歳以上の場合は○を、35歳未満の場合は◎を講演者名の前に記入する。(35歳未満の場合、優秀講演賞選考対象者となる。)英文による著者の姓 (family name) は大文字のみを用いる。その下に英文による所属を加える。全ての著者の所属、住所を例にならぬ記入する。

申し込み時からの著者名、著者の順序等の変更は原則認めない。変更せざるを得ない場合、「5. 問合せ先」に連絡する。

## 2.3 Abstract 講演概要

著者所属から2行あけて、Abstractを150語以内で記入する。書体は10pt Times New Roman, 両端揃えとする。

## 2.4 Keywords キーワード

Abstractから1行あけて、英文 keyword を3から5つ、中央揃えで記入する。Keyword の先頭文字のみを大文字とする。

## 2.5 本文

Keywordsから2行あける。本文は1段組とする。設定の詳細は「1. 原稿作成要領」に記してある。

## 2.6 見出し

章、項、節の見出しは以下の通りとする。見出しの前は1行あける。見出しが続く場合はその限りでない。書体は本文と同じ10pt 明朝体であるが、章題のみ強調文字とする。

## 2.7 式

式と記号は、10pt 英文フォント斜体字で記述する。ただし、添字は標準体とする。式の前後には1行あけ、左側2文字の字下げとする。式番号を右端に記す。本文中では、Eq. (1)とする。

$$G_m - F_m = p_m V_m \quad (1)$$

## 2.8 図、表、写真など

図などを配置する場合、上下左右の余白にはみ出さないようにする。図などの説明は英文とし、本文中では、Fig.1, Table 1などと記す。図、表の題目の上下を1行あける。Fig. 1, Table 1は図、表の例である。

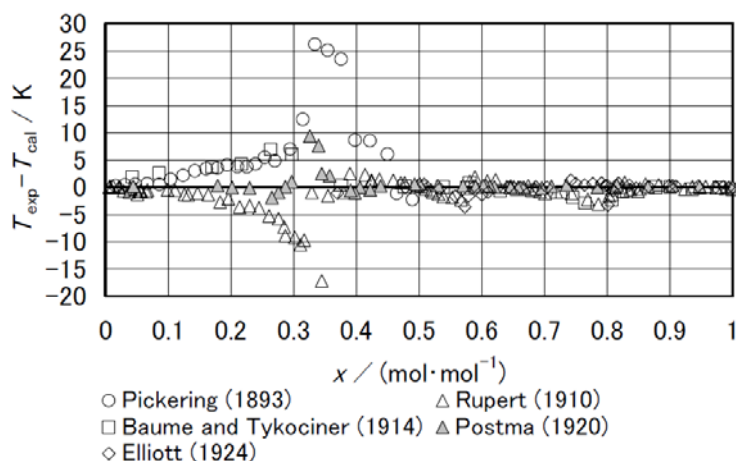


Fig.1 Deviation of measured freezing point temperatures from correlations by Tillner-Roth [2].

Table 1 Historical data of vapor pressure of ammonia.

Author	Year	$T$	$p$	Ref.
Keyes	1918	240-398	0.103-9.96	1
Cragoe	1920	195-343	0.00563-3.31	25
McKelvey	1923	195-195	0.1	26
Beattie	1930	303-405	1.17-11.3	8
Overstreet	1937	176-242	0.0008-0.1114	27

## 2.9 参考文献

文献は、本文中で[1], [2,3], [4-7]のように番号で示す。

[例] Keyes ら[1] はアンモニア(NH<sub>3</sub>)の飽和蒸気圧…

参考文献の一覧は英文表記にて文末に記載する。

記載項目は、本文文末の例を参照のこと。

## 3. 提出方法

PDF ファイルに変換し、年次大会ホームページ

( <https://nenji.jsrae.or.jp/nenji2016/index.html> )

を通じて提出する。ファイル名は [講演番号].pdf とする。例えば、この文書の場合、”A101.pdf” となる。

講演番号は、プログラム作成時に決定する予定である。後日、年次大会ホームページに掲載するプログラムで確認する。

PDF 変換の設定は高解像度 High quality を推奨するが、ファイルサイズは 5MB 以下とする。ファイル容量が上限を超えた場合は、実行委員会でファイル容量を圧縮する場合があります。

システムの不具合等の理由で上記のホームページから提出できない場合は、PDF ファイルを E メールに添付し、jsrae16@jsrae.or.jp 宛に送付する。

## 4. 原稿提出期限

2016 年 7 月 25 日 (月) 必着 (締切厳守)

## 5. 問合せ先

### 5.1 日本冷凍空調学会 2016 年度年次大会実行委員会

E-mail : [jsrae16@jsrae.or.jp](mailto:jsrae16@jsrae.or.jp)

### 5.2 日本冷凍空調学会事務局

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 13-7 日本橋大富ビル 5 階

TEL/FAX : 03-5623-3223/3229

## 謝辞

(科研費番号など) …

(本文終了)

## NOMENCLATURE

$c_p$  : specific heat at constant pressure,  $\text{kJ} \cdot \text{kg}^{-1} \cdot \text{K}^{-1}$

$h$  : specific enthalpy,  $\text{kJ} \cdot \text{kg}^{-1}$

$p$  : pressure, kPa

$T$  : temperature, K

$t$  : Celsius temperature, °C

$V$  : volume,  $\text{m}^3$

## REFERENCES

- [1] F.G. Keyes and R.B. Brownlee, The Vapor Pressure of Liquid Ammonia up to the Critical Temperature. [Part II.], *Journal of the American Chemical Society*, **40**(1) (1918), pp. 25–53.
- [2] R. Tillner-Roth, J. Li, A. Yokozeki, H. Sato and K. Watanabe, “Thermodynamic Properties of Pure and Blended Hydrofluorocarbon (HFC) Refrigerants”, JSRAE, (1997).

- [3] T. Miyazaki and K. Oguchi, *Proc. 2001 JSRAE Annual Conference*, JSRAE, (2001), pp. 181–184. (in Japanese)
- [4] Technical report of JSRAE, JSRAE Corp., (2010. 4).
- [5] Wind in power: 2015 European statistics, available from <<http://www.ewea.org/statistics/>>, (accessed on Apr. 14, 2016).